札幌市環境プラザのコロナ禍における取り組みや課題について

札幌市環境プラザ
〈指定管理者：(公財)さっぽろ青少年女性活動協会〉
三瀬　雅允

SYAA
公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

Sapporo Eco Plaza

- コロナ禍の影響
- 取り組み①SNSでの発信とその課題
- 取り組み②オンライン事業の展開と発見
- 取り組み③コロナ禍での展示を考える

札幌市環境プラザとは

- 札幌市の環境活動の拠点施設として、展示物や情報発信、イベント開催等を通して、環境問題への「気づき」が生まれる学びの支援を行っている。

展示施設としての、コロナ禍の影響

- 来館者の減少
  施設見学数：2019年度…65件、2020年度（12月現在）…5件
  小・中学校の総合学習、学童施設の見学事業による利用が減少

- 事業の実施方法の変更
  「体験型事業が難しい」

- 広報の抜本的な見直しに迫られる…チラシが通用しない

- コロナ禍の影響
- 取り組み①SNSでの発信とその課題
- 取り組み②オンライン事業の展開と発見
- 取り組み③コロナ禍での展示を考える

SNS…Facebookを利用

- ステイホーム期間ならではの情報発信
- 動画を作成して投稿
  ⇒フォロワー数は微増

- Facebookの特性と環境プラザの目的が合致しにくい
  Facebook…コミュニティ形成
  プラザの目的…普及啓発
  ⇒第3者へ情報が届けられない

- SNSごとの特性：使用者の年齢層・使用目的・アクセス頻度

YouTubeへの挑戦

- 広報動画だけでなく、コンテンツとしての動画を作成したい
  →見学に来れなくても、一定の効果のある内容
  対面での見学で伝えられることを１０として、5～6程度を
  伝えられる動画内容を目指したい

- コロナ禍の影響
- 取り組み①SNSでの発信とその課題
- 取り組み②オンライン事業の展開と発見
- 取り組み③コロナ禍での展示を考える

虫のイイ話！？～昆虫食の世界～

虫のイイ話！？～昆虫食の世界～

- 福岡県の講師をオンラインでつなぐ
  ⇒当日講師側の天候が雷で接続不安定

- 会場参加とオンライン参加の二通りの参加方法を設定
  ⇒会場が二つあるので、双方の様子の確認が必要だった

- 試食体験を実施
  ⇒感染対策を十二分に行って実施

森暮らしのいろは～フプの森のライフスタイル

- オンラインのみでの実施
- 金曜日19：30～20：30に実施
- Zoomウェビナーを使用

⇒自宅での「ながら見」に合致した内容

この経験から

- 今まで現場でしていたことの移植でなく、オンライン事業ならではの提供の仕方を考えたい
- テレビ番組を作る感覚で、照明や音響の場づくりが楽しい
- 参加者が気軽に参加できる分、参加可否の判断もギリギリなのが難しいところ
- 利用するプラットフォームをどうするか
  Youtubeライブ、Zoom、ウェビナー
  （集客の場の問題も）

- コロナ禍の影響
- 取り組み①SNSでの発信とその課題
- 取り組み②オンライン事業の展開と発見
- 取り組み③コロナ禍での展示を考える

- 展示物…接触せず楽しめる工夫
  物量、演出、動画

- 滞在時間が短くても学べる、楽しめるもの
  事前・事後のフォローの充実